

あ と が き

『會津八一記念博物館研究紀要』第20号をお届けします。本号では研究論文3編、資料紹介3編と2018年6月30日と10月13日に開催したシンポジウムの記録、2018年度の博物館活動報告を掲載しております。

また、本年度も以下の通り各分野で特色あふれる企画展、特集展示を開催しました。

【企画展】

6月28日～8月5日：「AIZU MUSEUM 創立20周年記念・藪野健展—記憶の扉を開けて」

10月11日～11月17日：「穴澤コレクション 古代中国鏡の世界」

11月27日～2019年1月19日：「日比義也コレクション受贈記念 石を愛でる—一盆石書画の世界—」

【富岡重憲コレクション展示室】

3月1日～2019年4月23日：「花と鳥」

5月10日～6月16日：「近代の日本画」

6月29日～8月5日：「日本のやきもの」

【特集展示】

5月9日～6月16日：「創立20周年記念・藪野健が選ぶ AIZU MUSEUM 名品展」

本年度で当館は開館20周年を迎えました。これもひとえに日頃から当館の活動にご理解とご協力賜っております皆様のおかげと感謝申し上げます。また、2018年8月6日から一時休館し、展示室の改修、増設工事が行われました。この改修工事のため、上記の内、「穴澤コレクション 古代中国鏡の世界」、「日比義也コレクション 受贈記念 石を愛でる—一盆石書画の世界—」が大隈記念タワー 125記念室での開催、特集展示も1回のみ開催となるなど例年とはことなる内容での活動が多く行われました。「創立20周年記念・藪野健が選ぶ AIZU MUSEUM 名品展」展は特集展示ではありましたが、企画展示室と常設展示室特集展示スペースを会場としたことで、当館の名品をより多く展示することができました。そのほかにも、当館主催のシンポジウムを2回開催、『早稲田大学會津八一記念博物館開館20周年記念名品図録』発行など、休館中ではありましたが、例年以上に活発な活動を行うことができました。

来年度は展示室の改修、増設を終え、新たな會津八一記念博物館の姿をご覧に入れることができるかと思えます。今後はこれまで以上に様々な分野の作品・資料に関する研究・公開を行っていく所存です。皆様におかれましても、当館の活動につきまして、これまで以上のご理解、ご支援を賜りましたら幸いです。

(紀要編集部 記)